

令和6年度 学校自己評価重点目標シート（川口市立高等学校 定時制）

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	名
事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 年 月 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	○定時制生徒の半数以上が不登校経験者や外国にルーツのある生徒である。 ○生徒の目標が「卒業」だけでなく「将来を見据えた進路」に大きく変わってきている。 ○教員減に伴う教職員の校務負担の増加が想定される。	「生徒の進路実現を支援する組織を構築する」 ①多文化、多様性を理解し、個々の生徒に沿った指導体制・教職員組織を構築する。 ①進路希望の未決定を0にする。 ②校務の効率化を図るとともに働き方改革を実施し、教育の質の向上を図る。	①「産業社会と人間」を中心に4年間を見通した系統的なキャリア教育を実施し、生徒の自己理解の深化、進路意識の醸成を図る。 ②ICTを活用し、学校関係者との情報を共有や校務のスマート化を図る。			
教育課程	○定時制総合学科の特徴を活かしたキャリア教育プログラムを実施している。完成年度である。 ○地域・生徒・学校の現状を踏まえたカリキュラムが求められている。	「教育課程の円滑な実施を進める」 ③すべての生徒の学力・能力(知る・学ぶ・考える・行う)を伸ばす。 ④生徒・保護者・地域の要望や学校の現状を踏まえ、カリキュラムマネジメントを行う。	③キャリア教育プログラム、編成し直した「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を全教職員が確実に実施する。 ③ICT等を活用した学びや体験活動、学び直し、日本語指導など、生徒一人一人に沿った指導の充実策を実施する。 ④アンケート等を参考にカリキュラムマネジメントを実施する。			
開かれた学校づくり	○夜間定時制のため外部連携が難しい面がある。 ○定時制の魅力ある学びの発信をより一層充実させることが求められている。	「積極的に広報するとともに外部機関や地域社会とWin-Winな関係づくりを構築する」 ⑤外部機関等との連携を一層強化し、生徒の将来を見据えた学びを進める。 ⑥様々な媒体、機会を活用し定時制の魅力を発信する。	⑤外部機関や地域だけでなく、全日制、附属中との連携を積極的に行う。 ⑥HPやSNSを活用し定時制の魅力を発信していく。学校説明会や学校見学の実施方法について改善しながら実施する。			
教職員の資質向上	○組織的かつ計画的な研修体系を構築する必要がある。 ○定時制教職員数が少ないことから研修参加が難しい面がある。	「教職員の資質向上を推進させる」 ⑦校内研修を計画的に行い、教職員の指導力向上を図る。 ⑧校外研修等への教職員の積極的な参加を推奨する。	⑦保護者も含めた公開授業、研究授業を実施する。 ⑦行事を精選しつつ、新たな取り組みを実施しながら教員の資質を向上させる。 ⑧校外研修へ積極的な参加を推奨する。			
施設・設備等の管理	○全日制、附属中との情報共有し、緊密な連携体制を構築し、安心安全な学校生活を保障する必要がある。 ○ICT活用の流れを後戻りさせないという意識の下、教育活動を充実させる必要がある。	「施設設備の効果的な活用と安心安全な学校生活の保障する」 ⑨定時制特有の課題に対して安心・安全を確保する。 ⑩施設・設備を活かした教育活動を展開する。	⑨自転車点検や登校指導、不審者等の防犯対策など安全確保と安全点検を行う。 ⑩ICT等を効果的に活用できる研修を実施する。			

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	